

令和6年度長浜米原休日急患診療所運営委員会 会議要点録

日 時：令和6年11月21日（木）18時00分から19時20分まで

場 所：湖北医療サポートセンター2階 B会議室

出席委員：10人

◎森上直樹委員、○西村正孝委員、嶋田義孝委員、久留島文治委員、
小室太郎委員、東野克巳委員、嶋村清志委員、菖蒲池学委員、
安田真理子委員、山口博之委員

（◎委員長、○副委員長）

欠席委員：1人

中村誠昌委員

オブザーバー：湖北医師会 堀川事務局長

傍聴者：なし

事務局：長浜市地域医療課 藤田課長代理、川越係長、宮本主幹

傍聴者：なし

次 第：1. 開会

2. あいさつ

3. 会議の成立について

4. 会議の公開について

5. 議題

- ・報告事項1 令和5年度事業報告について
- ・報告事項2 令和6年度診療状況について
- ・報告事項3 市民啓発事業について
- ・協議事項1 令和6年度年末年始の診療体制について

6. その他

7. 閉会

○会議要点録

1 開会

2 あいさつ

事務局（省略）

3 資料確認

4 委員及びオブザーバー、事務局職員自己紹介

5 会議の成立について

委員 11 人中 10 人出席で過半数の出席により会議は成立したことを確認

6 会長の選出

森上直樹委員を会長に選出

西村正孝委員を副会長に選出

森上会長が議長となり会議を運営

会長あいさつ（省略）

7 会議の公開について

（事務局）

・会議の公開について説明

（議長）

・会議の公開についてご意見、ご質問等があればお願いします。

・その都度会議に諮ってということだが、会議の最初に公開して良いかどうかを決めるのか。

（事務局）

- ・原則公開だが、会議の中で個人情報や、訴訟事項などに抵触するような場合などは除かれる。

(議長)

- ・聞きに来られている方にはその時にお断りをするのか。

(事務局)

- ・そのとおり。あるいは、その個人情報を扱う部分で退席していただくことになる。プレス発表をする際も、会議に諮った結果、傍聴できない場合もあることを前提の上で来ていただくよう広報をしている。

事務局は事前に資料を用意しているので、冒頭に案件について説明をし、皆さんにお諮りして対応をさせていただく。

(委員)

- ・運営委員会の議事録の公開だけではだめなのか。

(事務局)

- ・会議については原則公開となっている。

(委員)

- ・議事録も公開されるのか。

(事務局)

- ・原則公開することになる。

(委員)

- ・最初に公開の部分を審議して、非公開の部分については退席してもらうやり方もある。原則公開とするのであれば資料などもしっかり準備しておかないといけない。後から齟齬があるといけない。

(議長)

- ・委員が言われたことも今後考えていただきたい。

本会議については公開として扱う。

8 報告事項 1

- 令和5年度事業報告について

(事務局)

- ・資料3、4に基づき説明(省略)

(議長)

- ・ご意見、ご質問等があればお願いします。

(委員)

- ・資料の中にあるグラフについては0を起点にしないといけないと思う。ここだけ拡大したように見える。起点を0にすると横ばいに見えることもある。小数点については、小数点第1位まででよいのではないかと思う。

9 報告事項2

○令和6年度事業報告について

(事務局)

- ・資料5、6に基づき説明(省略)

(議長)

- ・ご意見、ご質問等があればお願いします。

(委員)

- ・休日の診療人数の割合だが、休日急患診療所の開いている時間と夜間の病院の開いている時間帯とは違うと思う。割合だけ見てもわからないが、病院の夜間の受診者はたくさんおられると思う。夜間の患者数の増加などはわからないのか。

(事務局)

- ・休日昼間の休日急患診療所が開設している時間帯のデータをいただいて統計を出している。

(議長)

- ・この比率が大事になったのは、昼間になるべく休日急患診療所を受診してもらい、病院の負担を減らすという目的があり比率を出すようにした。夕方まで待って病院に行く人も多かった。そのため啓発事業をしてもらい、少しでも病院の負担を減らすために、昼間のうちに休日急患診療所を受診してもらうように啓発してこのパーセンテージが増えてきた。

(委員)

- ・この資料もボリュームと割合を一緒にグラフにするには、積み上げグラフにしないとボリュームが見えないので、積み上げグラフにした方が良い。

(議長)

- ・全体のボリュームはかなり減ってきていると思う。これはコンビニ受診をやめましょうという啓発を続けた結果だと思う。

10 報告事項 3

○市民啓発事業について

(事務局)

- ・資料 7 に基づき説明（省略）

(議長)

- ・ご意見、ご質問等があればお願いします。

(委員)

- ・それぞれに予算をどのくらいかけ、それに対する効果はどうだったのかという効果判定について、市民啓発の中身として今後、準備しておく必要がある。

11 協議事項 1

○令和 6 年度年末年始の診療体制について

(事務局)

- ・資料 8、9 に基づき説明（省略）

(議長)

- ・ご意見、ご質問等があればお願いします。

(議長)

- ・年末年始は連続の休みになるため、患者さんは検査をして欲しい。他の開業医も休みであるため昨年と同様検査をせざるを得ないだろう。

(委員)

- ・検査は患者の希望だけですか。

(議長)

- ・問診の段階で決めることになるが、検査を希望する方は基本的にはほとんどが検査をすることになると思う。

(委員)

- ・患者から問い合わせがあった際に、今は市販の検査キットもあるので、それを使ってくださいと最初に言った方が良いのではないかと。何十人も重なってこられると職員の負担は大きい。市販の検査キットを使用出来そうにない人は来てもらって検査をする必要があると思うが、自分で出来そうな人は市販の検査キットも勧めてもよいのではないかと。

(議長)

- ・市販のキットを勧めるだけではなく、こういう方法もありますよと案内をするとよいかと。

(委員)

- ・休日急患診療所でも検査しているが、市販のキットで検査していただく方法もあると案内をするとよい。

(事務局)

- ・今も市販の検査キットは使用したかどうかについて、電話連絡をいただいた時に確認してはいる。

(委員)

- ・検査はインフルとコロナ両方をするのが前提かと。

(議長)

- ・インフルとコロナ同時検査キットしか使用しない。全員が両方を検査することになる。

(オブザーバー)

- ・今、医師会の方で年末年始の開院状況を調べているが、年明けの4日の土曜日が休診の診療所が多い。4日は土曜日であり休日急患診療所も休みなため病院の救急に行かれる方が増えるかもしれない。よろしくお願ひしたい。

(委員)

- ・28日の土曜日はどうか。

(オブザーバー)

・28日に開院しているところは、4日より多い。

(委員)

・湖北病院は28日が土曜日なので開院しているが、いつも年末のかけ込みが多い。

(議長)

・本日の議題についてはすべて終了。

12 その他

(議長)

・その他に何か意見等はないか。

(委員)

・電子処方箋の導入予定はないか。

(事務局)

・まだ、予定はない。

(委員)

・電子処方箋の普及率はまだまだではあるが、国の方は勧めている。休日急患診療所で処方された薬の情報が他の医療機関や薬局で確認が出来ない。今後検討していく必要があるのではないか。

(事務局)

・今後、検討していく。

(委員)

・薬剤師会にお伺いしたい。薬の不足について、感冒や胃腸薬などの一般的な市販薬は大きい薬局で買える状態であるが、調剤薬局の一覧はあったりするのか。

(委員)

・今、年末年始に営業している薬局について調べている。その一覧表を送付することは可能。どちらに情報を提供したらよいか。

(委員)

・医師会にいただければ会員に情報共有する。

(委員)

- ・市販薬については薬局によって違う。プライベートブランドを販売している薬局は、ある程度揃ってきているところもあるし、逆に仕入がなかなかうまくいかないところもある。以前よりは随分と流通するようになってきているが、薬の種類によって違いがある。

(事務局)

○事務局から提案

- ・毎年、当委員会を開催しているが、運営委員会の所掌事務は、休日急患診療所の基本的運営方針に関する事、医療事故、災害補償その他診療上の諸問題の対策に関する事、その他運営に係る重要な事項に関する事となっている。休日急患診療所の開設当初や新型コロナウイルス感染症の流行時においては、運営に関して決定しなければならない重要な事柄が多くあった。しかし、現在運営も安定しているので、毎年定期的に開催するのではなく、運営に係る重要な協議事項に関する事があり、委員の方々に意見をお伺いする必要が生じた際に、随時開催するよう変更させていただきたい。委員委嘱は、運営に係る重要な協議事項が発生した場合に備えて、運営委員会の開催に関わらず2年の任期ごとに委嘱をさせていただきたいと考えている。
- ・委員会の委員長及び副委員長については、改選後、最初に開催する会議において決めていただくようにしたい。
- ・休日急患診療所の運営実績などについては、委員の皆様へ、議会の審査後に資料で配布させていただきたいと考えている。
- ・日々の診療体制の検討や報告事項など軽微な事柄については、管理者である森上委員や医師会様、米原市様などと協議する場を別に設けて対応していきたい。
- ・委員会の組織について、地域医療課の長は、休日急患診療所を運営する事務局として、委員の皆様から意見を聞かせていただく立場であることから、令和8年度の改選時に委員から外させていただきたい。

(議長)

- ・ご意見、ご質問等があれば願います。

(委員)

- ・運営に関わる重要な事項があるかどうかは事務局が判断することになり、何年も会議を開かないことになるのではないかと。こうして年末年始を前に集まることに対して、非常

に有意義な議論があるので、年1回くらいはあった方が良くはないか。

- ・長浜市地域医療課長が委員から外れることは妥当であると思う。
- ・今回の会議でも薬の流通状況や年末年始が長くなる年はどういう対応をしたらよいか、コロナの時期は大変だったが、またインフルなどが出てくるかどうか、いろいろな協議ができる場である。電子カルテや電子処方箋の導入などについても予算計上をどうするかなど検討もできる。最近は安定しているということだったが、結果的に上手くいっていたらとても良いことで、有事にならないということはリスクマネジメントができしており、機能が働いているということだ。特に議論することがなかったとしても会議をした方が良い。

(委員)

- ・市の方からどうですかと聞かれることばかりではなく、委員の方から聞きたいことや伝えたいこともある。

(議長)

- ・同じように続けていただくということで対応いただきたい。
- ・年末年始の体制をどうするかという協議も必要であると思うので、同じ頃開催をする、プラス何か問題が発生した場合に開催する。

(委員)

- ・確認だが、長浜市地域医療課長の職にある者については、委員から外れるとしてよいか。

(議長)

- ・それについてはよい。

13 閉会